

# コンクリート工の生産性向上に向けた取組方針(案)

- ◆ 規格の標準化や全体最適設計の導入、工程の改善を図ることで、生産性向上技術の全国展開、現場毎の個別最適から一連の事業区間や全国の事業を想定した最適化、製作・運搬等の各生産工程の改善を図ることで、コンクリート工の生産性向上を目指す

## 工事関係基準(ガイドライン、品質規定)の整備、見直し

### ○適用範囲の標準化(ガイドライン)

- **機械式定着工法**、機械式継手、高流動コンクリート、プレキャストの大型構造物への適用拡大

### ○必要性能の標準化(ガイドライン)

- 鉄筋のプレハブ化、埋設型枠

### ○サイズの標準化

- 橋脚、桁、型枠、鉄筋などのサイズの標準化

### ○検査方法等の標準化

- 発注規定、品質管理基準(検査方法)等

現場打ち、プレキャストそれぞれにおいて、生産性向上技術を全国に普及

現場作業の屋内作業化、定型部材の組み合わせによる施工への転換

## 全体最適を図る設計手法の検討

- 設計段階から、施工・維持管理を含めた建設生産プロセス全体を考慮した場合の最適な技術を採用する手法の検討

コスト以外の項目も用いて技術を総合評価する手法の確立

## サプライチェーンマネジメントの導入

- 調達、製作、運搬、組立等の各工程の改善

建設生産プロセス全体の効率化を図り、待ち時間などのロスを減少

生産向上技術の全国展開

現場毎の個別最適から一連の事業区間や全国の事業を想定した最適化

製作・運搬等を含んだ生産工程の改善

規格の標準化

全体最適設計

工程改善